Taxonomyに刺激を受け，編まれたものと推測しているが，読み易い簡潔な記述と巻末に付された膨大な訳語つき用語集がたいへん役立った．ここで初めて和訳されたと思われる術語も少なくはなく，私は今でも座右に置き重宝している．

『花のある風景』(1984) には，先生が依頼に応じて随所に発表された総説や随筆が纏められており，先生のお人柄が彷彿としてくる．また晩年，日本では最初の多数の専門家を執筆者に迎えての日本植物誌といえる，平凡社刊『日本の野生植物』の出版にご尽力された功績には大変大きなものがあると思う．

私事にわたるが，1973年にイイデリンドウのことを本誌雑録に書いたが，それが幸いにも先生の目に止まった．その頃，先生は飯豊山の植物を雑誌ガーデンライフに載せるべく執筆されていた．先生はその総説の中で私の説を紹介して下さったが (佐竹 1984 に再録)，以来先生には旧知の間柄でもあるようによく声をかけていただき，当時多くの時間を過ごしておられた山梨県長坂町発信のお手紙・はがきをいただいた．また，標本を調べるために時々東大にひょっこりとやって来られた．今，そんな折，先生から，ホシクサ科とイグサ科の研究を引き継ぐよう何度も誘われたことを思い出す．心から先生のご冥福をお祈り申し上げたい．(大場秀章)

参考文献

佐竹義輔 (Satake Y.). 1963. 西イリアン記. Journal of Researches in West Irian—Nature and Life in New Guinea. 廣川書店，東京.

—— 1964. 植物の分類. 第一法規出版.

—— 1967a. 一つの記録. 日本植物分類学会会報 **2** (1): 5–6.

—— 1967b. わたしの研究歴—植物研究40年. 自然科学と博物館 **34**: 153–162.

—— 1984. 花のある風景. アボック社出版局，鎌倉.

新　刊

□鳴橋直弘 (編著)：**とやま植物物語** 299 pp. 2000. シー・エー・ピー書店. ¥2,000 (税，送料別).

富山で植物の研究に関係している17人の共同執筆で，55種類の植物を，1. 富山県で見つかった植物，2. 分布や生態で特色のある植物，3. 県民に親しみのある植物の項目に分けて，それぞれの植物を紹介し解説している．1ではエッチュウミセバヤ，トガマダイオウ，タテヤマキンバイ，タテヤママリモ，コシノヒガンザクラ，ホクリクムヨウランなど15種類，2ではツガ，ブナ，エゾヒナノウスツボ，オニバス，アオネカズラ，タキミシダなど18種類，3ではタテヤマスギ，ユキツバキ，カタクリ，ドクダミ，クロベ，アシツキノリなど21種類が取り上げられている．それぞれの植物の発見の由来，形状，分布，生育状態，その植物に関する研究の紹介，その植物にまつわる話などが述べられている．学術的なものや，随筆風のものなど，人によって内容は様々であるが，日頃から現地の植物に接していなければ書けない内容であり，地方の植物誌としての特色を示している．これからの地方での研究のありかたを示唆するものとして興味ある著書である．問い合わせは，〒930-0873 富山市金屋1634-25　シー・エー・ピー株式会社まで．

なお，同じ出版社からでている，長井真隆：とやま植物誌 (1994，¥1,800) は，富山県の種々の植物を，主に植生の上から解説した意欲的な内容のもので，上記のものと合わせ利用すれば，富山県の植物の理解に役立つであろう．(山崎　敬)

□国土地理院：**数値地図 25000 (地名・公共施設) 全国 CD-ROM 版**. 2000年. 日本地図センター. ¥7,500.

2万5千分の1図上の注記 (文字列のこと．いわゆる地名にあたる) 約 467,000 件および公共施設名約 103,000 件が収容されている．公共施設とは国や地方機関，警察，学校，病院，郵便局などで，地図上では記号で表示さ